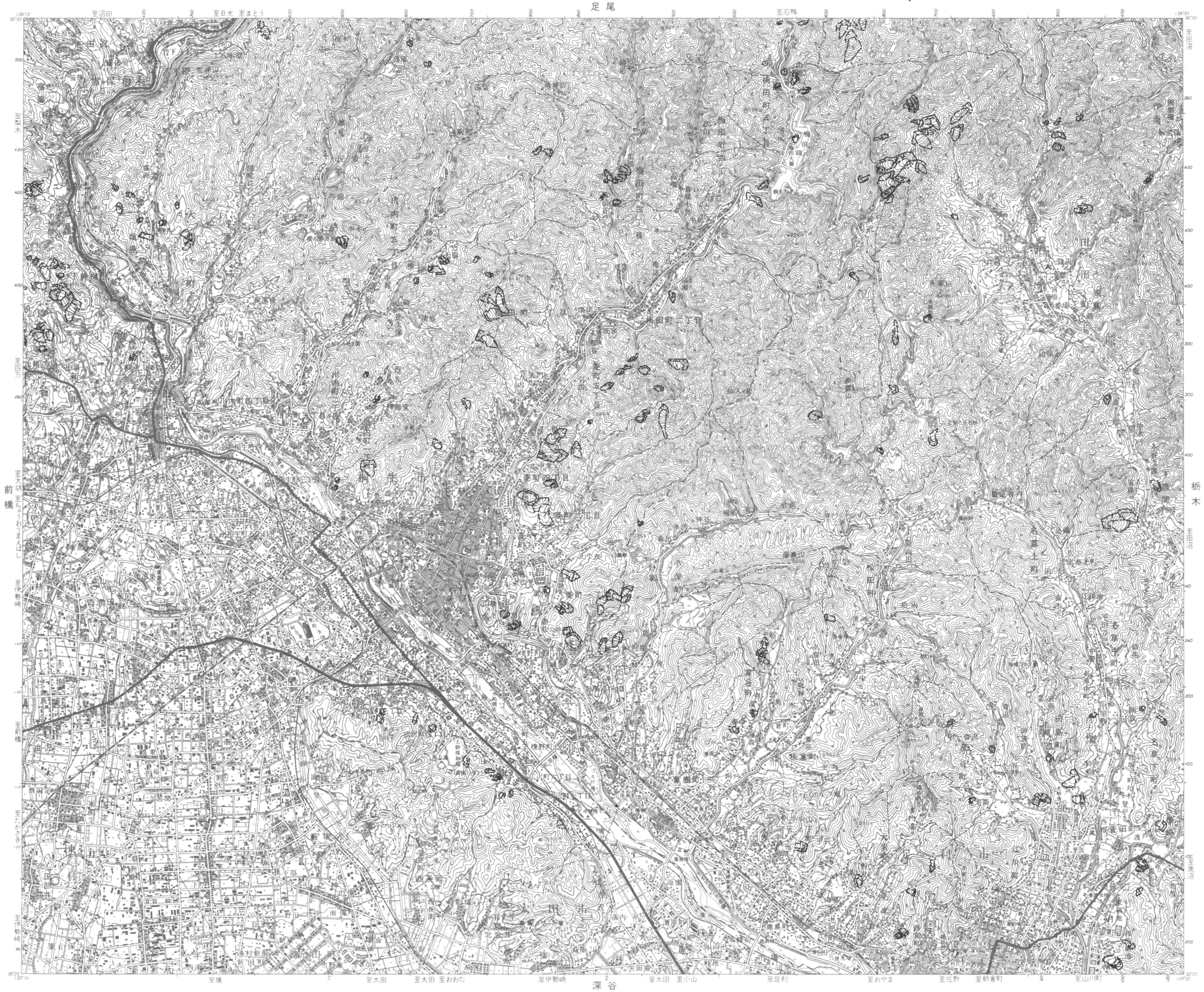
1：50,000 地形図　NJ-54-30-10
きりゅうおよびあしかが　（宇都宮10号）

地すべり地形分布図　桐生及足利

Landslide Map of KIRYU OYOBI ASHIKAGA



凡　例

輪郭構造

滑落崖と側方崖

- 新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖
- 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖
- 冠頂が著しく開析された滑落崖
- 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖
- 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置
- 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖
- 中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面。冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
- 後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界

- 後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能
- 後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
- 滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土塊）が残存している
- ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
- 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
- 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
- 脚部線・削剝域下限

内部構造

- 二次・小滑落崖、崖線の開析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
- 雁行亀裂
- サブユニットの境界、内部（二次）移動体輪郭
- 線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向
- 移動体内の小尾根
- 池
- 幅の広い溝状凹地、亀裂
- 水のない窪地
- 幅の狭い溝状凹地、亀裂
- 陥没地の前線

移動方向等

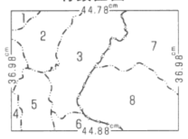
移動体の主移動方向

- すべり
- クリープ（匍行）
- 流れ・押出し
- 落石など
- 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
- 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他

- 還急線
- 活断層（地すべりを変位させている顕著な断層）
- 地層面等および節理・断裂の走向・傾斜

行政区画



索引図

沼田	足尾	鹿沼
前橋	（宇都宮）	栃木
高崎	深谷	古河

（　）内は所属20万分1図の図名

群馬県

1．勢多郡　2．山田郡　3．桐生市　4．佐波郡
5．新田郡　6．太田市

栃木県

7．安蘇郡　8．足利市

1：50,000　桐生及足利

1000m　0　1000　2000　3000

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号　平15関複、第６５８号）」　許可なく複製を禁ずる

防災科学技術研究所　National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention © 2004
防災科学技術研究所研究資料　第248号

調査者　清水文健・井口　隆・大八木規夫
by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI

LM－353

調整　北海道地図株式会社東京支店
印刷　内外地図株式会社